

学院ニュース

2026年度春期講習会予定

3ページ

今月の行事

- 2月 1日(日) 第2回新年度進学説明会
11日(水) 建国記念日 休校
17日～18日 県立高校入学者選抜試験
18日(水) 中3生 入試自己採点表提出
中3生全授業終了
23日(月) 天皇誕生日 休校
24日(火) 国公立大学前期2次試験開始
27日(金) 全校 今年度最終授業日

3月の行事

- 3月 3日(火) 全校舎 新年度授業開始
県立高校選抜入試 合格者発表
20日(金) 春分の日 休校
21日(土) 3月通常授業最終日
24日(火) 全校 春期講習会開始
27日(金) 小・中学生 休校
31日(火) 小学生・中1生 学力テスト
(中2・3は4/2 学力テスト)

◇新年度の進学説明会の知らせ◇

第1回の説明会は終了いたしました。第2回目の説明会は2月1日(日)に開催されます。
多くのご父兄のご参加を、資料を準備いたしましてお待ち申し上げます。

- 清見台校 10時30分～11時30分
請校校 13時30分～14時30分

♪さあ2月だ♪今月の目標は？

小学生 学年の最後の月、1年間を振り返ろう

1年間の学習計画を反省し、ペースの乱れや停滞があったら、その時期を思い出してその原因を考えてください。前学年の反省にたって新学期からの学習計画を練り上げるためにも、1年間の学習計画を思い出したいものです。

中1 短いようで長い3学期

期間は短いようですが中間テストがないので、学年末テストの出題範囲が長くなりますから、このことを十分に考慮して効率の良い学習をして下さい。1年間の総まとめテストとなります。

中2 理科・社会の進度をチェック！

この時期は2月末の県の学力テストに間に合うように、教科書の学習範囲を終わらせるため、学校での授業が減茶苦茶な進度となり、理解できない項目の続出となります。そして苦手な理解できない項目として残ります。塾の進度に合わせて、家庭で復習学習をして下さい。

中3 失点を少なく

県立高校入試が間近に迫ってきました。直前学習の大事なことは「失点をいかに少なくするか」という点につきます。英語・数学は復習中心に基本事項の再確認を、国語は漢字の読み書きを繰り返し学習、社会・理科は教科書の資料を良くチェックしておくことです。自分の弱点を早く学習し直してください。

またここまで来て体調を崩しては何にもなりません。最近感染症が流行しておりますが、いつ自分が感染するかわかりません。手洗いを良く行い、うがいをしつこいほどやって下さい。また乾燥した空気の中に長時間いると、のどの粘膜が乾燥し、喉を傷めたり扁桃腺がはれたりしますので、出来るだけマスクを着用して自分の体調管理に努めてください。

高1 1年間のまとめを

中学と高校の学習の違いが十分に分かったことでしょう。学習内容がかなり難しくなり、しかも内容量も多く進度も早いので、学年末試験では大変です。

早めに準備をし、あわせて大学進学 of 勉強も必要となってきます。厳しい心構えが必要です。

高2 共通テストは解けましたか？

来年の今頃は2次試験の勉強に追われていることと思いますが、現在の自分の学力をきちんと把握して、これからの学習に役立ててください。木更津高校の学力は全国 of 平均レベルですので、名のある大学に合格するには努力の積み上げが絶対不可欠です。のんびりしてはあとで後悔しますよ。

高3 2次試験の準備！

中3生同様、健康管理が一番大切です。次に共通テストの結果から2次出願となりますが、での共通テストの得点の配分を良く調べ、2次の受験大学選択を間違えないようにして下さい。勝負するか、安全を見るか、自分の将来を決める大事な節目です。家族、講師ともよく相談して決定してください。

2026年度春期講習会予定

早稲田学院

(時間割・テスト時間は後日発表)

指導教科

小学生	国、算
中1生	国、数、英
中2・3生	国、数、英、社、理

小学生・新中1生

3/24(火)～3/31(火) (3/27 休校)
3/31 学力テスト

授業時間

小学生	14:00～16:00	新中1生	13:00～16:00
-----	-------------	------	-------------

新中2・3生

3/24(火)～4/2(木) (3/27 休校)

4/2 学力テスト

高校入試の傾向 日常生活も題材 思考力を問います

「大学入学共通テスト」の影響から高校入試も暗記力から思考力へ。「大学入学共通テスト」では、各教科で日常生活などを題材にした問題が複数出されました。暗記した知識だけでなく、その知識を具体的にどう生かすか、思考力や判断力を測るためです。新形式の出題もみられました。

この流れを受けて各県の高校入試でも毎日の生活を題材とした設問が増加し、新聞、テレビニュース等の情報も目を配らなくてはなりません。

英語

履修単語数の大幅な増加により入試問題で扱われる単語が変化したこと、さらに原型不定詞、現在完了進行形、仮定法などの新出内容が、長文問題や英作文問題などで重点化されたことです。入試で扱われる単語のレベルは確実にアッ

プしており、昔のレベルでは太刀打ちできません。

数 学

問題文の長文化や設定が凝った思考力系の出題は落ち着いた一方、計算・一行問題や典型問題の難度がやや上がりました。「データの活用」分野は趣向を凝らした出題が増えました。「箱ひげ図」を大問として出題したのは17県であり、読解力と情報整理力が問われてきております。

理 科

今年の理科は教科書改訂後に出題数が減少していた中1・2の単元の出題が目立ちました。また日常生活を題材とした問題や授業の場面を模した出題も落ち着き、従来通りの典型題構成された入試が全国的に増えており、思考力や考え方の過程よりも知識の定着や活用を重視する流れが戻ってきて来た印象です。ただし、知識の確認＝一問一答ではないことに注意が必要です。

(完答で正解)の問題、正しい組み合わせの選択肢を選ぶ問題の出題数は昨年より増え、知識の関連性や仕組みの理解が今まで以上に問われるようになって来ました。

社 会

社会は今年も「問題解決」の観点を問う時事的な出題が目立ちました。資料や図版の多用はもはや定番となり、ページ数や設問数の全国平均は昨年と同数で問題構成には大きな変化はありませんでした。また、記述問題の平均出題数も昨年とほぼ同数となりましたが、記述問題につきまちは県ごとの作問方針が明確に打ち出され、資料をもとにした思考力系の問題を多く出題する県と、知識の習得を中心に問う県が明確に分かれている印象です。

働き方改革、労働力不足は喫緊の社会問題、訪日外国人や軽減税率なども目を配る必要があります。

国 語

国語は大学入試共通テストの影響もあり、複数テキストの導入も進んでおります。説明的文章で異なる題材文の読み取りを課したのは6県ですが、古典では6割を超える29府県で古文と漢文の比較や、会話文・鑑賞文などの資料の読み取りが出題されています。2025年度の共通テストから実用文に関する大問が新設されたこともあり。今後高校入試でも複数テキストだけでなく、グラフや図版の読み取りの出題が加速、変化する可能性があります。

ついに生成AIが入試に登場(山梨県)など年々変化が加速しております。

進学予備校 早稲田学院 (中学・高校受験部門)

清見台校 〒292-0045 木更津市清見台 1-23-21 TEL 0438-25-6363

請西校 〒292-0807 木更津市請西南 3-25-2 TEL 0438-37-5511

大学受験講座「サクセス」

〒292-0807 木更津市請西南 3-25-2 TEL 0438-37-5511